

SS画像無線送信機

取扱説明書

品番 WJ-SST200



上手に使って上手に節電

技術基準適合証明書

このたびは、SS画像無線送信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 本機は画像や音声をSS無線伝送方式で送信するための装置です。
- 本機で送信した映像や音声を受信するためにはSS画像無線送受信機（WJ-SSC200：別売り）が必要です。

保証書別添付

もくじ

| | |
|---------------------|---|
| 安全上のご注意 | 2 |
| 使用上のお願い | 4 |
| 付属品をお確かめください | 4 |
| 各部の名前と働き | 5 |
| ID設定変更のお願い | 6 |
| 携帯用ベルトの取り付けかた | 7 |
| 別売り品について | 7 |
| 仕様 | 7 |
| 保証とアフターサービス | 8 |

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

禁止

医用電気機器に近づけない
(手術室、集中治療室、CCU などには持ち込まない)



本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

禁止

CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

航空機内では電源を切る



運行の安全に支障をきたす恐れがあります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 注意

落とさない、強い衝撃を与えない



けがや火災の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所に設置しない



火災や感電の原因となります。

禁止

指定以外の装置を接続しない



けがなどの原因になることがあります。

禁止

使用上のお願い

上手にお使いいただくために、以下のことをお守りください。

- **技術基準適合証明ラベルについて**
本機は、電波法で規定される技術基準適合証明
品です。機器ごとに技術基準に適合しているこ
とを証明する証明ラベルが張られています。こ
のラベルをむやみにはがしたり、傷を付けた
りしないでください。
- **違法改造しないでください。**
本機を分解したり、内部の部品に触ったりし
ないでください。法律によって改造は禁じら
れています。
- **単方向受信設定以外で、高利得アンテナ
やアンプは使用しないでください**（法律に
定められた送信出力を超えるためです）。
- **バッテリーをご使用になる場合は、次の
ことを必ずお守りください。発熱・発
火・破裂の原因となります。**
 - ・ 専用の充電器以外は使わないでください。
 - ・ 端子部を他の金属と接触させないでください。
 - ・ ハンマーでたたくなど強い衝撃を加えたり、
変形、落下させたりしないでください。
 - ・ 分解、改造（はんだ付けなどの加工など）は
しないでください。
 - ・ 加熱したり、火の中へ投入しないでください。
 - ・ 火のそばや炎天下など高温の場所で使用、充
電、放置はしないでください。
 - ・ カーバッテリーは使用しないでください。
- **アンテナは本体から取り外さないでくだ
さい**（シールドキット使用時は除く）。
アンテナを付いたり、外したりを繰り返すと、
アンテナの接点に摩擦し接触不良を起こす原因と
なります。接触不良を起こすと、伝送距離（通信
距離）が短くなります。
- **本機を携帯または運搬して使用する場
合は、本体ケースをつけたままご使用くだ
さい。**
- **直射日光の当たる場所での使用はさけて
ください。**
高温下での使用は避けてください。
- **ていねいにお取り扱いください。**
落下させたり、強い衝撃や振動を与えると、故
障や事故の原因になります。
- **使用温度範囲以外の場所への設置や使用
はやめてください。**
0 以下の寒いところや、45 以上の暑いとこ
ろには設置しないでください。
- **ちゅう房など蒸気や油分の多いところ
や、湿気、ほこりの多い場所での使用は
避けてください。**
- **お手入れについて**
電源を切って乾いた柔らかい布でふいてくださ
い。
ホコリがとれにくいときは、薄めた台所用洗剤
をやわらかい布にしみこませ、よくしぼり軽く
ふいてください。
ベンジン、シンナーなどの揮発性のものは使用
しないでください。
- **IDの設定について**
D-5077-01 / 02とWJ-SST200 / SSC200間で双方
方向通信を行う場合、次のようにIDの設定を変更
する必要があります。
 - ・ D-5077-01 / 02とWJ-SST200 / SSC200とでは
IDの設定範囲が異なります。D-5077-01 / 02の
IDに0を設定している場合、WJ-SST200 /
SSC200 間で双方向通信を行うことはでき
ません。なお、設定範囲はD-5077-01 / 02が0 ~
254、WJ-SST200 / SSC200が1 ~ 254です。
 - ・ Dの設定を変更する場合、送信側 / 受信側で自
局ID / 相手局IDが一致するようにIDを設定し
てください。
 - ・ IDの設定を変更する場合、操作機（WJ-
SSK200）が必要です。操作器をお持ちでない
場合は販売店にご相談ください。
 - ・ 単方向通信で使用する場合、IDを設定する必
要はありません。
なお、設定のしかたについては「IDの設定」を
ご覧ください。

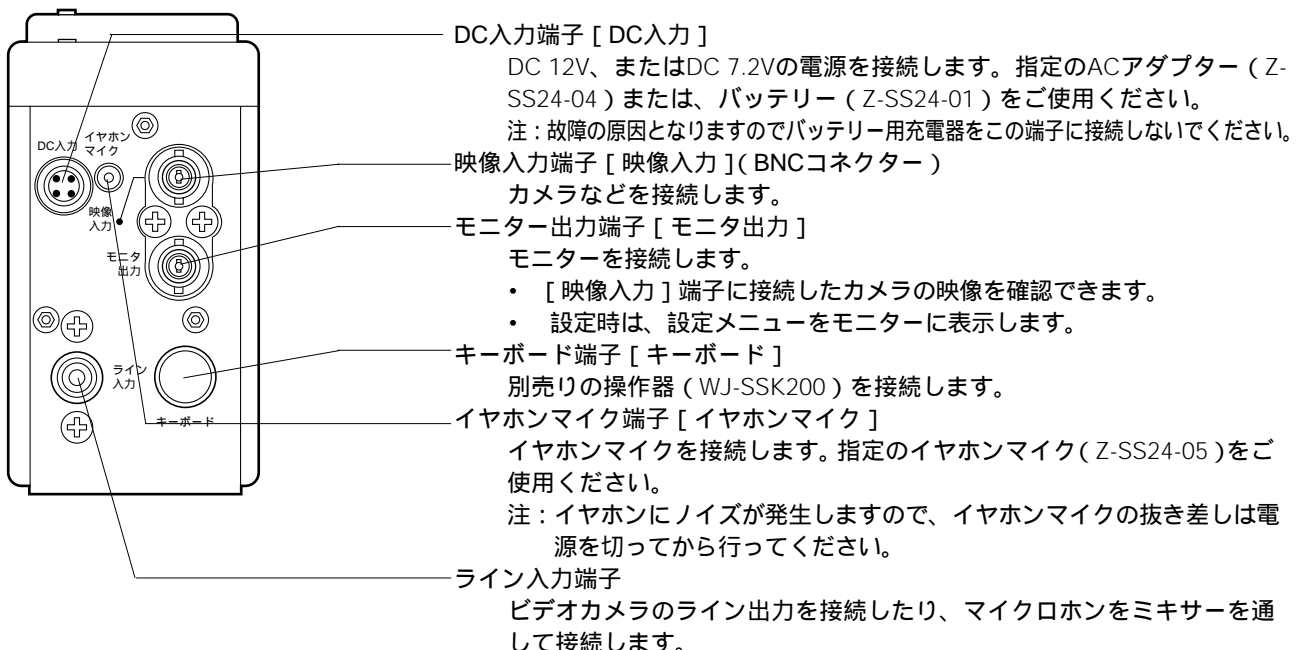
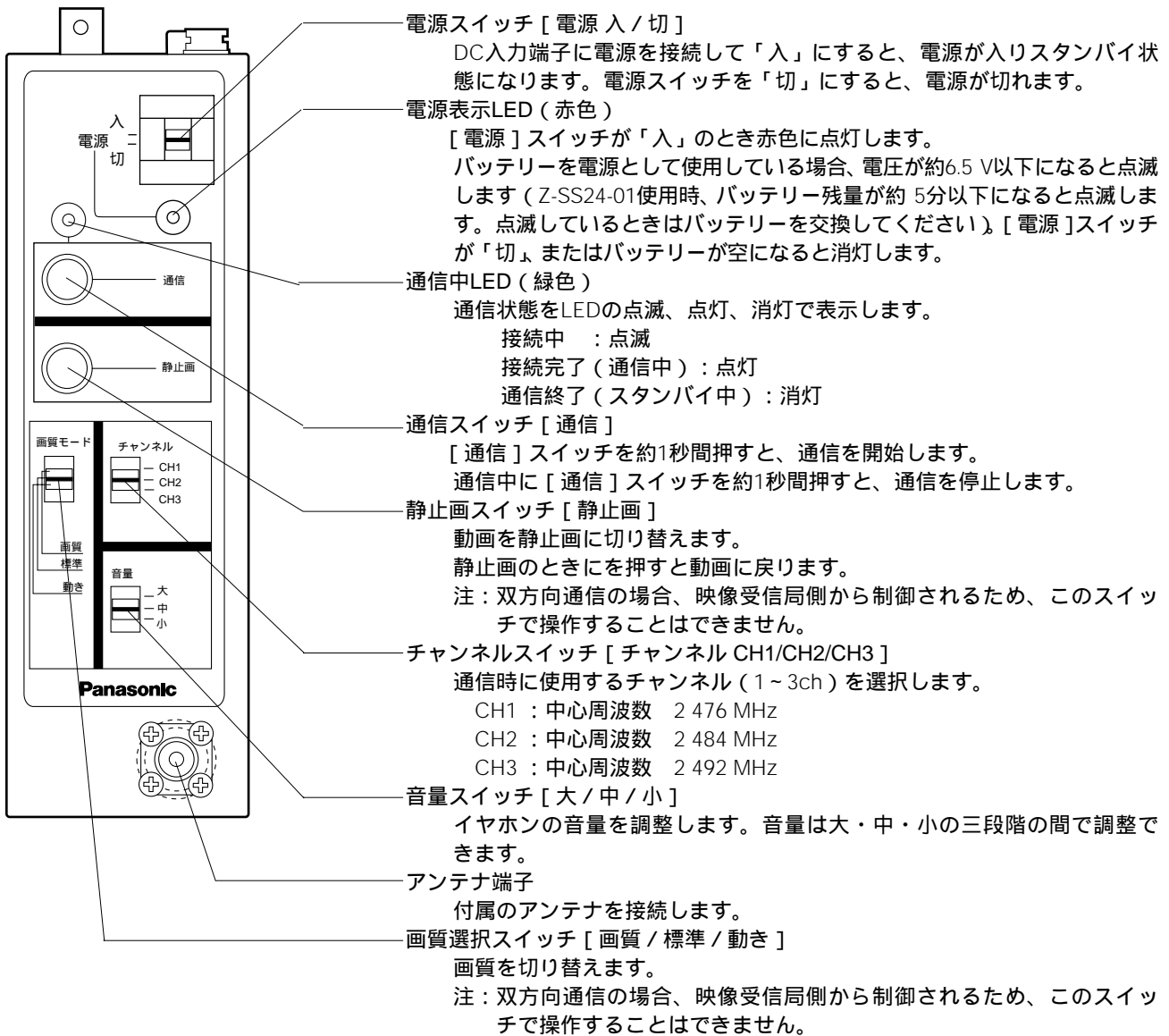
付属品をお確かめください

ホイップアンテナ 1
携帯用ケース（本体取り付け済み） 1
バッテリー接続用ケーブル 1
同軸変換接註 1

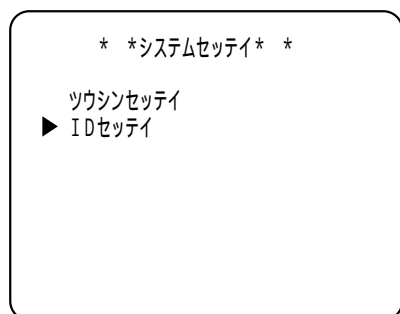
携帯用ベルト 1
取扱説明書（本書） 1
保証書 1


各部の名前と働き

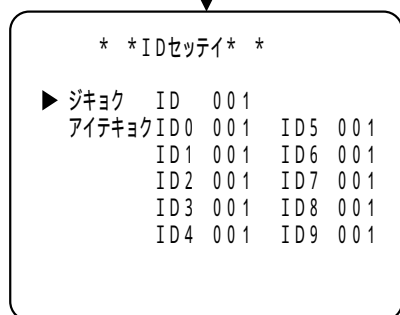
詳しい使いかたはSS画像無線送受信機 (WJ-SSC200) 付属の取扱説明書をお読みください。



ID設定変更のお願い

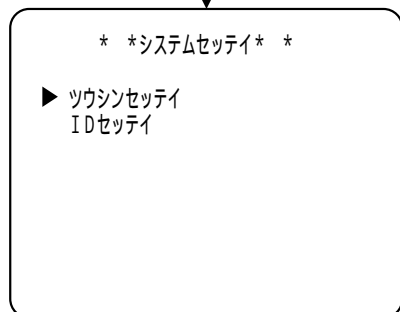












で項目確定



設定作業

で戻る



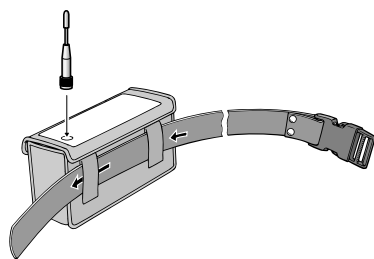
1. SS画像無線送（受）信機に操作器（WJ-SSK200）を接続し、電源を入れます。
2. 操作器のを押します。メニュー画面 {システムセットイ} が表示されます。
3.  または  で {IDセットイ} にカーソルを移動して  を押します。{IDセットイ} 画面が表示されます。
4. {ジキョクID} へカーソルを移動して  を押します。カーソルが反転表示され、IDが「 - - - 」で表示されます。「 - - - 」に [テンキー] で1~254の中から任意のIDを入力します。
IDを入力したら、 を押して設定を確定します。カーソルの表示が通常に戻ります。
5. {アイテキョクID0} へカーソルを移動して、 を押します。[テンキー] で1~254の中から任意のIDを入力します。
IDを入力したら、 を押して設定を確定します。
6. {アイテキョクID1} から {アイテキョクID9} を同様に設定します。
7. 設定が終了したら、 を押して、{システムセットイ} 画面に戻ります。
8. もう一度  を押すと、メニュー設定を終了します。

[メモ]

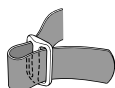
- 1対1のシステムだけで使用する場合、自局ID、相手局IDとも「001」に設定してください。
- 異なるシステムとの通信を無効にしたいときは、システムごとに独自のIDを設定してください。

携帯用ベルトの取り付けかた

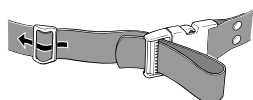
下図のイラストを参考に取り付けてください。



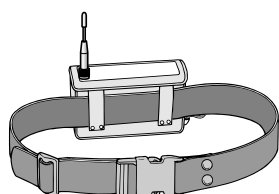
携帯用ケース側面のベルト通し穴に携帯用ベルトを通す。



携帯用ベルトにストッパーを通す。



携帯用ベルトにバックルを通す。



完成イメージ

別売り品について

| 品名 | 品番 | 備考 |
|------------|-----------|-------------------|
| SS画像無線送受信機 | WJ-SSC200 | 画像・音声の受信に必要。 |
| 操作器 | WJ-SSK200 | 本機機能の設定に必要。 |
| ショルダーキット | WJ-SSS200 | 携帯して使用する場合に必要。 |
| 防滴カバー | WJ-SSW200 | 雨天時に携帯して使用する場合に必要 |
| ACアダプター | Z-SS24-04 | AC100V電源使用時に必要。 |
| バッテリー | Z-SS24-01 | バッテリーで使用するとき必要。 |
| イヤホンマイク | Z-SS24-05 | |

仕様

基本仕様

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 電源電圧 | DC 6 ~ 15 V |
| 消費電力 | 10.8 W |
| 使用温度範囲 | 0 ~ +45 |
| 寸法 | 170.5(幅) × 91.5(高さ) × 53.5(奥行き)mm |
| 質量 | 約 750 g |
| 仕上げ | 塗装 (インディゴメタリック色) |

無線系

| | |
|------|-------------|
| 送信出力 | 10 mW / MHz |
| 通信速度 | 1 Mbps |

映像系

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 信号方式 | NTSC |
| 動画コーデック | H.261 / ITU-T準拠 |
| 映像入力 | NTSC 1.0 V [p-p] / 75 × 1 (BNC端子) |
| モニター出力 | NTSCコンポジット信号 × 1 (BNC端子) |
| 画像遅延 | 1 s以内 |

音声系

| | |
|---------|----------------------------|
| 音声コーデック | G.721 / ITU-T準拠 (ADPCM) |
| マイク入力 | -42 dBm / 2.2 k |
| イヤホン出力 | -25 dBm / 32 (音量スイッチ「中」) |
| ライン入力 | -10 dBm / 10 k × 1 (RCA端子) |
| 音声遅延 | 100 ms以内 |

: イヤホンマイク端子の仕様。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼されるとき

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、商品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、SS画像無線送信機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

| | | | | | |
|-----------------|---------|---|---|----|------------------|
| お 買 っ 上 げ 年 月 日 | 年 | 月 | 日 | 品番 | WJ-SST200 |
| 販 売 店 名 | ☎ () - | | | | |

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

NM0898-2040

S8QA5046CN